

パブリックコメント意見はございませんでしたが、数値の修正、表記の統一及び文書の体裁を整えるため、パブリックコメント時の内容から下記のとおり修正を行いました。

NO	頁	修正前	修正後
1	2	1.改定の趣旨 1段落1行目	水道事業及び下水道事業
		水道事業・下水道事業	
2	3	2.経営ビジョンの位置づけ 1段落1行目	水道事業及び下水道事業
		水道事業・下水道事業	
3	3	2.経営ビジョンの位置づけ 2段落目	「本経営ビジョンの位置づけとしては、～位置づけになります。」
		「また、本経営ビジョンは、～位置づけられます。」	
4	4	3.経営理念 1行目	本経営ビジョン
		宜野湾市上下水道事業ビジョン	
5	4	3.経営理念 3行目	水道事業及び下水道事業
		上下水道事業	
6	5	4.計画期間	「本経営ビジョンは、「経営戦略策定・改定ガイドライン」(総務省)において、「中長期的な視点から経営基盤の強化等に取り組むことができるように計画期間は10年以上を基本とする。」旨が示されていることを踏まえ、計画期間を～」
		「本経営ビジョンは、本市の水道事業・下水道事業が将来にわたって安定的に継続していくための中長期的な経営の基本計画であり、10年以上を基本としていることから、計画期間は～」	
7	8	1.水道事業の概要 2段落2行目	中央集中監視システム
		集中監視システム	

NO	頁	修正前	修正後																																						
8	8	<p>1.水道事業の概要 4段落3行目</p> <p>お客さま窓口や上下水道施設の維持管理業務等を一体的に包括して委託する上下水道事業包括業務委託を開始し、～</p>	<p>お客さま窓口や施設の維持管理等を包括的に委託する「上下水道事業包括業務委託」を開始し、～</p>																																						
9	8	<p>表2.1.1 水道事業の沿革</p> <p>平成30(2018)年 上下水道局組織統合により「宜野湾市上下水道局」の誕生</p>	<p>平成30(2018)年 上下水道局組織統合により「宜野湾市上下水道局」の誕生、上下水道事業経営戦略の策定</p>																																						
10	9	<p>1.3水道施設の状況 2行目</p> <p>管路総延長は278,718m</p>	<p>管路総延長は283,730m</p>																																						
11	9	<p>表2.1.3 配水区域の追記</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>値</th> <th>配水区域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">配水池</td> <td>喜友名配水池</td> <td>3,500 m<sup>3</sup> 喜友名一部、伊佐、大山一部、真志喜一部、宇地泊</td> </tr> <tr> <td>大山配水池</td> <td>1,000 m<sup>3</sup> 大山一部、真志喜一部、嘉数一部</td> </tr> <tr> <td>大山第2配水池</td> <td>1,000 m<sup>3</sup> 大山一部、真志喜一部、嘉数一部</td> </tr> <tr> <td>野嵩配水池</td> <td>3,000 m<sup>3</sup> 野嵩1区一部、野嵩2・3区、新城、普天間1・2・3区、喜友名一部</td> </tr> <tr> <td>長田配水池</td> <td>1,500 m<sup>3</sup> 我如古一部、真志喜一部、長田一部、愛知一部</td> </tr> <tr> <td>長田第2配水池</td> <td>4,000 m<sup>3</sup> 嘉数、真栄原、宜野湾、我如古一部、大謝名一部、(普天間飛行場将来)</td> </tr> <tr> <td>水道管延長</td> <td>管路総延長</td> <td>278.7 km</td> </tr> </tbody> </table>	区分	値	配水区域	配水池	喜友名配水池	3,500 m <sup>3</sup> 喜友名一部、伊佐、大山一部、真志喜一部、宇地泊	大山配水池	1,000 m <sup>3</sup> 大山一部、真志喜一部、嘉数一部	大山第2配水池	1,000 m <sup>3</sup> 大山一部、真志喜一部、嘉数一部	野嵩配水池	3,000 m <sup>3</sup> 野嵩1区一部、野嵩2・3区、新城、普天間1・2・3区、喜友名一部	長田配水池	1,500 m <sup>3</sup> 我如古一部、真志喜一部、長田一部、愛知一部	長田第2配水池	4,000 m <sup>3</sup> 嘉数、真栄原、宜野湾、我如古一部、大謝名一部、(普天間飛行場将来)	水道管延長	管路総延長	278.7 km	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>値</th> <th>配水区域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">配水池</td> <td>喜友名配水池</td> <td>3,500 m<sup>3</sup> 喜友名一部、伊佐、大山一部、真志喜一部、宇地泊、大謝名一部</td> </tr> <tr> <td>大山配水池</td> <td>1,000 m<sup>3</sup> 大山一部、真志喜一部、嘉数一部、大謝名一部</td> </tr> <tr> <td>大山第2配水池</td> <td>1,000 m<sup>3</sup> 大山一部、真志喜一部、嘉数一部、大謝名一部</td> </tr> <tr> <td>野嵩配水池</td> <td>3,000 m<sup>3</sup> 野嵩1区一部、野嵩2・3区、新城、普天間1・2・3区、喜友名一部</td> </tr> <tr> <td>長田配水池</td> <td>1,500 m<sup>3</sup> 我如古一部、志真志一部、長田一部、愛知一部、赤道一部</td> </tr> <tr> <td>長田第2配水池</td> <td>4,000 m<sup>3</sup> 嘉数一部、真栄原一部、宜野湾一部、我如古一部、大謝名一部、佐真下(普天間飛行場将来)</td> </tr> <tr> <td>水道管延長</td> <td>管路総延長</td> <td>283.7 km</td> </tr> </tbody> </table>	区分	値	配水区域	配水池	喜友名配水池	3,500 m <sup>3</sup> 喜友名一部、伊佐、大山一部、真志喜一部、宇地泊、大謝名一部	大山配水池	1,000 m <sup>3</sup> 大山一部、真志喜一部、嘉数一部、大謝名一部	大山第2配水池	1,000 m <sup>3</sup> 大山一部、真志喜一部、嘉数一部、大謝名一部	野嵩配水池	3,000 m <sup>3</sup> 野嵩1区一部、野嵩2・3区、新城、普天間1・2・3区、喜友名一部	長田配水池	1,500 m <sup>3</sup> 我如古一部、志真志一部、長田一部、愛知一部、赤道一部	長田第2配水池	4,000 m <sup>3</sup> 嘉数一部、真栄原一部、宜野湾一部、我如古一部、大謝名一部、佐真下(普天間飛行場将来)	水道管延長	管路総延長	283.7 km
区分	値	配水区域																																							
配水池	喜友名配水池	3,500 m <sup>3</sup> 喜友名一部、伊佐、大山一部、真志喜一部、宇地泊																																							
	大山配水池	1,000 m <sup>3</sup> 大山一部、真志喜一部、嘉数一部																																							
	大山第2配水池	1,000 m <sup>3</sup> 大山一部、真志喜一部、嘉数一部																																							
	野嵩配水池	3,000 m <sup>3</sup> 野嵩1区一部、野嵩2・3区、新城、普天間1・2・3区、喜友名一部																																							
	長田配水池	1,500 m <sup>3</sup> 我如古一部、真志喜一部、長田一部、愛知一部																																							
	長田第2配水池	4,000 m <sup>3</sup> 嘉数、真栄原、宜野湾、我如古一部、大謝名一部、(普天間飛行場将来)																																							
水道管延長	管路総延長	278.7 km																																							
区分	値	配水区域																																							
配水池	喜友名配水池	3,500 m <sup>3</sup> 喜友名一部、伊佐、大山一部、真志喜一部、宇地泊、大謝名一部																																							
	大山配水池	1,000 m <sup>3</sup> 大山一部、真志喜一部、嘉数一部、大謝名一部																																							
	大山第2配水池	1,000 m <sup>3</sup> 大山一部、真志喜一部、嘉数一部、大謝名一部																																							
	野嵩配水池	3,000 m <sup>3</sup> 野嵩1区一部、野嵩2・3区、新城、普天間1・2・3区、喜友名一部																																							
	長田配水池	1,500 m <sup>3</sup> 我如古一部、志真志一部、長田一部、愛知一部、赤道一部																																							
	長田第2配水池	4,000 m <sup>3</sup> 嘉数一部、真栄原一部、宜野湾一部、我如古一部、大謝名一部、佐真下(普天間飛行場将来)																																							
水道管延長	管路総延長	283.7 km																																							
12	12	<p>2行目</p> <p>表1.1.3に示した県内水道事業体の料金の平均は、<u>3,085円(税込み)</u>で、本市の料金水準はおおむね中間に位置しています。</p>	<p>図2.1.3に示した県内水道事業体の料金の平均は、<u>3,180円(税込み)</u>となっており、本市の料金水準はおおむね中間にいちしています。</p>																																						

NO	頁	修正前	修正後
13	12	<p>図2.1.1 水道料金比較グラフ</p> <p>—</p>	<p>グラフ中に類似団体平均を追加</p>
14	14	<p>2.1これまでの主な経営健全化の取組 (3)組織力の強化 1行目</p> <p>「～施設の維持管理業務等を<u>一体的に包括して委託する</u>「上下水道事業包括業務委託」を開始し、～」</p>	<p>「～施設の維持管理等を<u>包括的に委託する</u>「上下水道事業包括業務委託」を開始し、～」</p>
15	15	<p>表2.2.1前回との比較について</p> <p>管路総延長 平成30年度：274.7 Km 令和4年度：278.7 Km 5年間の実績：+4 Km (+1.5%)</p>	<p>管路総延長 平成30年度：283.3 Km 令和4年度：283.7 Km 5年間の実績：+0.4 Km (+0.1%)</p>
16	16	<p>2.3水需要の状況 2段落1行目</p> <p>本市では、平成6(1994)年度から実施している土地区画整理事業により～</p>	<p>本市では、土地区画整理事業により～</p>
17	18	<p>2.4施設耐震化及び管路の状況 【管路更新率】</p> <p>【分析】～新規布設事業を優先して実施したため、<u>全国平均値</u>を下回っています。～</p>	<p>～新規布設事業を優先して実施したため、<u>類似団体平均値等</u>を下回っています。～</p>

NO	頁	修正前	修正後																																																																		
18	19	2段落1行目  「～アセットマネジメント（資産管理）計画を策定しています。」	「～アセットマネジメント（資産管理）計画を策定しており、そのなかで既設管路の事故率や～」																																																																		
19	19	表2.2.2 更新基準の設定内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">管 種</th> <th colspan="3">更新基準</th> </tr> <tr> <th>前回 経営戦略</th> <th>アセット マネジメント計画</th> <th>今回 経営ビジョン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダクタイル鑄鉄管（K形）ポリエチレンスリーブあり</td> <td>70年</td> <td>70年</td> <td>95年</td> </tr> <tr> <td>ダクタイル鑄鉄管（K形）ポリエチレンスリーブなし</td> <td>70年</td> <td>70年</td> <td>70年</td> </tr> <tr> <td>鑄鉄管（CIP,CIP-A,CIP-T）</td> <td>40年</td> <td>70年</td> <td>70年</td> </tr> <tr> <td>ダクタイル鑄鉄管（K形）</td> <td>70年</td> <td>70年</td> <td>70年</td> </tr> <tr> <td>ダクタイル鑄鉄管（上記以外）</td> <td>60年</td> <td>70年</td> <td>70年</td> </tr> <tr> <td>硬質塩化ビニル管（HIVP）</td> <td>40年</td> <td>70年</td> <td>70年</td> </tr> <tr> <td>その他（ポリエチレン管、銅管、不明な管種）</td> <td>40年</td> <td>70年</td> <td>70年</td> </tr> </tbody> </table>	管 種	更新基準			前回 経営戦略	アセット マネジメント計画	今回 経営ビジョン	ダクタイル鑄鉄管（K形）ポリエチレンスリーブあり	70年	70年	95年	ダクタイル鑄鉄管（K形）ポリエチレンスリーブなし	70年	70年	70年	鑄鉄管（CIP,CIP-A,CIP-T）	40年	70年	70年	ダクタイル鑄鉄管（K形）	70年	70年	70年	ダクタイル鑄鉄管（上記以外）	60年	70年	70年	硬質塩化ビニル管（HIVP）	40年	70年	70年	その他（ポリエチレン管、銅管、不明な管種）	40年	70年	70年	更新基準の設定内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">管 種</th> <th colspan="3">更新基準</th> </tr> <tr> <th>前回 経営戦略</th> <th>アセット マネジメント計画</th> <th>今回 経営ビジョン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鑄鉄管（CIP,CIP-A,CIP-T）</td> <td>40年</td> <td>70年</td> <td>70年</td> </tr> <tr> <td>ダクタイル鑄鉄管（K形）ポリエチレンスリーブあり</td> <td>70年</td> <td>70年</td> <td>95年</td> </tr> <tr> <td>ダクタイル鑄鉄管（K形）ポリエチレンスリーブなし</td> <td>70年</td> <td>70年</td> <td>70年</td> </tr> <tr> <td>ダクタイル鑄鉄管（上記以外）</td> <td>60年</td> <td>70年</td> <td>70年</td> </tr> <tr> <td>硬質塩化ビニル管（HIVP）</td> <td>40年</td> <td>70年</td> <td>70年</td> </tr> <tr> <td>その他（ポリエチレン管、銅管、不明な管種）</td> <td>40年</td> <td>70年</td> <td>70年</td> </tr> </tbody> </table>	管 種	更新基準			前回 経営戦略	アセット マネジメント計画	今回 経営ビジョン	鑄鉄管（CIP,CIP-A,CIP-T）	40年	70年	70年	ダクタイル鑄鉄管（K形）ポリエチレンスリーブあり	70年	70年	95年	ダクタイル鑄鉄管（K形）ポリエチレンスリーブなし	70年	70年	70年	ダクタイル鑄鉄管（上記以外）	60年	70年	70年	硬質塩化ビニル管（HIVP）	40年	70年	70年	その他（ポリエチレン管、銅管、不明な管種）	40年	70年	70年
管 種	更新基準																																																																				
	前回 経営戦略	アセット マネジメント計画	今回 経営ビジョン																																																																		
ダクタイル鑄鉄管（K形）ポリエチレンスリーブあり	70年	70年	95年																																																																		
ダクタイル鑄鉄管（K形）ポリエチレンスリーブなし	70年	70年	70年																																																																		
鑄鉄管（CIP,CIP-A,CIP-T）	40年	70年	70年																																																																		
ダクタイル鑄鉄管（K形）	70年	70年	70年																																																																		
ダクタイル鑄鉄管（上記以外）	60年	70年	70年																																																																		
硬質塩化ビニル管（HIVP）	40年	70年	70年																																																																		
その他（ポリエチレン管、銅管、不明な管種）	40年	70年	70年																																																																		
管 種	更新基準																																																																				
	前回 経営戦略	アセット マネジメント計画	今回 経営ビジョン																																																																		
鑄鉄管（CIP,CIP-A,CIP-T）	40年	70年	70年																																																																		
ダクタイル鑄鉄管（K形）ポリエチレンスリーブあり	70年	70年	95年																																																																		
ダクタイル鑄鉄管（K形）ポリエチレンスリーブなし	70年	70年	70年																																																																		
ダクタイル鑄鉄管（上記以外）	60年	70年	70年																																																																		
硬質塩化ビニル管（HIVP）	40年	70年	70年																																																																		
その他（ポリエチレン管、銅管、不明な管種）	40年	70年	70年																																																																		
20	20	2.5経営の状況 2行目 ～経年変化及び類似団体平均値（以下、「全国平均値という。」）との比較を行い～	～経年変化、類似団体平均値及び令和4（2022）年度における全国平均との比較を行い～ ※2.5経営の状況においてグラフ内も含め「全国平均値」は、すべて「類似団体平均値等」に修正。																																																																		
21	24	3.基本施策及び取組事項について  第1章で掲げた基本理念及び基本方針に基づき、計画期間に経営健全化に向けて取り組む内容は以下のとおりです。	第1章で掲げた基本理念及び基本方針に基づき、計画期間において経営健全化に向けて取り組む内容は以下のとおりです。																																																																		
22	26	取組 I - 1 - ① 10年間の取組内容 3行目  車両一体型給水車	車両一体型給水タンク車																																																																		

NO	頁	修正前	修正後
23	48	<p>(2)財政シミュレーションの結果&lt;パターン&gt;①</p> <p>値上げ率を県企業局の受水費に係る値上げ率と同様とした場合では、収益的収支が黒字となりました。しかし、国庫補助金と本市が保有する資金だけで資金残高が大きく増加することから、この値上げ率は過大であることが分かりました。</p>	<p>値上げ率を県企業局の受水費に係る値上げ率と同様とした場合では、収益的収支が黒字となり、<u>資本的収支についても、国庫補助金と本市が保有する資金だけで必要な資金残高が確保できることが分かりました。</u></p>
24	48	<p>(2)財政シミュレーションの結果&lt;パターン&gt;②</p> <p>値上げ率をパターン①の1/2程度とした場合では、収益的収支が黒字となりました。また、資本的収支が黒字となりました。また、資本的収支では、国庫補助金と本市が保有する資金だけで事業を継続するのに必要な資金残高が確保できることが分かりました。</p>	<p>値上げ率をパターン①の1/2程度とした場合では、<u>パターン①と同様に収益的収支が黒字となり、資本的収支についても国庫補助金と本市が保有する資金だけで事業を継続するのに必要な資金残高が確保できることがわかりました。</u></p>
25	50	<p>(2)財政シミュレーションの結果&lt;パターン&gt;③</p> <p>値上げ率を～</p>	<p><u>2025年度の値上げ率を～</u></p>
26	51	<p>(3) まとめ 1段落3行目</p> <p>～経営悪化を理由に受水購入費の改定を行うこととしています。</p>	<p>～経営悪化を理由に<u>受水費</u>の改定を行うこととしています。</p>
27	51	<p>(3) まとめ 1段落6行目</p> <p>～経営悪化を理由に受水購入費の改定を行うこととしています。</p>	<p>～経営悪化を理由に<u>受水費</u>の改定を行うこととしています。</p>

NO	頁	修正前	修正後
28	51	(3) まとめ 2段落3行目	～「ステップ2-A」の財政シミュレーション結果を参考とし、投資財政計画を作成します。
		～「ステップ2-A・パターン②」の財政シミュレーション結果を投資・財政計画に採用します。	
29	52,53	4.3投資財政計画 1) 収益的収支	別紙1参照
		別紙1参照	
30	56	5原価計算表 表1.4.1原価計算表について	別紙2参照
		別紙2参照	
31	58	表3.1.1 下水道事業の沿革 表の追加	別紙3参照
		別紙3参照	
32	59	流域関連公共下水道とは…？ 3段落1行目	～独自の終末処理場を有するものが「単独公共下水道」
		～独自の終末処理場を有するものが「単独公共下水道」	
33	61	図3.1.1 宜野湾市のポンプ場及び汚水処理分区 名称変更	大山土地区画整理事業地区
		大山土地区画整理地区	
34	62	図3.1.2 宜野湾市の雨水配水区 名称変更	大山土地区画整理事業地区
		大山土地区画整理地区	

NO	頁	修正前	修正後
35	63	1.4下水道施設の状況 1) ポンプ場 1段落2行目 ～浄化センターは有しておらず、ポンプ場を有しています。	～処理場は有しておりません。
36	64	1行目 ～これまでの土木施設や建築施設、機械整備や電気設備の年度別の資産の取得点数を以下に示します。	～これまでの土木施設及び建築施設、機械設備及び電気設備の年度別の資産の取得点数を以下に示します。
37	66	1.6下水道使用料について 1段落1行目 ～（※説明はP11第2章参照）	～（※説明についてはP11参照）
38	66	1.6下水道使用料について 2段落1行目 令和元（2019）年度に使用料審議会を開催した結果、	令和元（2019）年度に上下水道料金等審議会を開催した結果、
39	67	1段落1行目 本市の下水道使用料は、 <u>家庭用途</u> で1か月20m <sup>3</sup> をしようした場合	本市の下水道使用料は、1か月20m <sup>3</sup> をしようした場合
40	67	1段落2行目 1,417円（税込み）となっておりますが、全国平均は3,000円を超えており全国平均に比べると安価となっております。	1,400円（税込み）となっており、全国の類似団体平均は2,354円（税込み）となっております。
41	67	表3.1.6 下水道使用料比較グラフ 修正 図の修正	
42	69	2.1これまでの主な経営健全化の取組 1) 安心・安全な暮らしへの対策 1段落1行目 ～宜野湾中継ポンプ場の改築、ポンプ増設に～	～宜野湾中継ポンプ場の改築及びポンプ増設に～
43	69	2.1これまでの主な経営健全化の取組 1) 安心・安全な暮らしへの対策 2段落1行目 浸水被害の発生頻度の減少や～	また、浸水被害の発生頻度の減少や～

NO	頁	修正前	修正後
44	69	2.1これまでの主な経営健全化の取組 2) 適切な施設管理 1段落2行目 ～令和2（2020）年2月に <u>宜野湾市下水道ストックマネジメント計画</u> を策定しました	～令和2（2020）年2月に「 <u>宜野湾市下水道ストックマネジメント計画</u> 」を策定しました
45	69	2.1これまでの主な経営健全化の取組 3) 下水道利用の促進 1段落3行目 ～また、下水道の日（9月10日）には市内小学校4年生を対象に、下水道の仕組みなど理解を深めるために出前講座を実施しています。	～また、下水道の日（9月10日）における取組の一環として、は市内小学校4年生を対象に下水道の仕組みなど理解を深めるために出前講座を実施しています。
46	69	2.1これまでの主な経営健全化の取組 4) 組織力の強化 1段落1行目 ～お客様窓口や上下水道施設の維持管理業務等を一体的に包括して委託する～	～お客様窓口や上下水道施設の維持管理等を包括的に委託する～
47	69	2.1これまでの主な経営健全化の取組 5) 財政基盤の強化 1段落2行目 ～必要性があったことから、令和元（2019）年度に使用料審議会を行い、令和2（2020）年4月1日から～	～必要性が示されたことから、令和元（2019）年度に上下水道料金等審議会を行い、令和2（2020）年4月から～
48	70	表3.2.1 前回との比較について 表5段目 経費回収率の維持・向上 平成30年度 111.41% 令和4年度 104.67% 5年間の実績 100%以上を維持	経費回収率の維持・向上 平成30年度 91.69% 令和4年度 103.66% 5年間の実績 +11.97%
49	71	2.3 普及状況の推移 1段落1行目 行政人口における過去5年間の推移を見ると横ばい傾向であり、令和4（2022）年度末現在、 <u>約100,000人</u> となっています。	行政区域内人口における過去5年間の推移を見ると横ばい傾向であり、令和4（2022）年度末現在、 <u>99,757人</u> となっています。
50	71	2.3 普及状況の推移 1段落4行目 ～令和4（2022）年度末現在、 <u>約96,000人</u> となっており、～	～令和4（2022）年度末現在、 <u>95,696人</u> となっており、～
51	71	2.3 普及状況の推移 2段落2行目 ～令和4（2022）年現在、 <u>約81,000人</u> となっており、～	～令和4（2022）年現在、 <u>81,133人</u> となっており、～

NO	頁	修正前	修正後
52	71	2.3 普及状況の推移 3段落1行目	将来人口については、本市污水处理構想及び「 <u>沖縄汚水再生ちゅら水プラン 2023</u> 」と整合を図り、令和18（2036）年度で行政区域内人口全てが
		将来人口は本市污水处理構想の目標及び計画と整合を図り、令和18（2036）年度で行政人口全てが	
53	71	2.3 普及状況の推移 3段落3行目	計画年度である令和15（2033）年度で、行政区域内人口は103,107人、
		計画年度である令和15（2033）年度で、行政人口は103,107人、	
54	72	2.4 汚水整備事業 1段落4行目	～「 <u>DID地区</u> 」が該当し、
		～「 <u>DID地区</u> 」に該当し、	
55	72	2.4 汚水整備事業 1段落5行目	～既に供用されている既整備区域と
		～既に供用されている既整備区域等と	
56	72	2.5 雨水整備事業 1段落3行目	～雨水事業も
		～雨水事業にも	
57	75	1段落2行目	～状態監視保全と位置づけて
		～状態監視保全施設と位置付けて	
58	77	2) 管路 1段落2行目	～污水管で最大8.3億円/年、雨水管で最大20.6億円/年のまとまった
		～污水管で年最大8.3億円、雨水管で年最大20.6億円のまとまった	
59	78	2段落5行目	～管渠が令和20（2038）年以降
		～管渠が今後20年目以降	
60	78	3段落1行目	～位置づけられており
		～位置づけて	
61	78	3段落3行目	～策定を行い、
		～策定し、	
62	82	2.7経営の状況	～経年変化、類似団体平均値及び令和4（2022）年度における全国平均との比較を行い～ ※2.7経営の状況において、グラフ内も含め「 <b>全国平均値</b> 」は、すべて「 <b>類似団体平均値等</b> 」に修正。
		～経年変化及び類似団体平均値（以下、「 <b>全国平均値</b> という。」）との比較を行い～	

NO	頁	修正前	修正後
63	83	グラフ 流動比率 【指標の意味】1行目 短気的な～	短期的な～
64	84	グラフ 汚水処理原 価【指標の意味】2行目 汚水処理費・汚水維持管理の～	汚水資本費・汚水維持管理の～
65	86	3.基本施策及び取組事項について  第1章で掲げた基本理念及び基本方針に基づき、計画期間に経営健全化に向けて取り組む内容は以下のとおりです。	第1章で掲げた基本理念及び基本方針に基づき、計画期間において経営健全化に向けて取り組む内容は以下のとおりです。
66	88	取組 I -2-① 10年間の取組内容 2行目  ～宜野湾中継ポンプ場の改築、ポンプ増設に合わせて施設の耐震化を図るとともに、津波に対する対応も必要となる大山中継ポンプ場については、 <u>大山地区</u> 土地区画整理事業等の～	～宜野湾中継ポンプ場の改築及びポンプ増設に合わせて施設の耐震化を図るとともに、津波に対する対応も必要となる大山第1中継ポンプ場については、 <u>大山</u> 土地区画整理事業等の～
67	88	取組 I -2-① ポンプ場耐震化・耐津波化に向けた工程 R9～R10 実施設計(大山中継ポンプ場) R11～R12工事(大山中継ポンプ場)	R9～R10 実施設計(大山第1中継ポンプ場) R11～R12工事(大山第1中継ポンプ場)
68	88	取組 I -2-② 10年間の取組内容 4行目  ～大山中継ポンプ場については、 <u>大山地区</u> 土地区画整理事業等の動向を～	～大山中継ポンプ場については、 <u>大山</u> 土地区画整理事業等の動向を～
69	89	取組 I -2-④ 10年間の取組内容 2行目  ～ <u>大山地区</u> 土地区画整理事業や、沖縄における～	～ <u>大山</u> 土地区画整理事業や、沖縄における～
70	89	取組 I -2-⑤ 10年間の取組内容 1行目  今後予定される <u>大山地区</u> 土地区画整理事業や～	今後予定される <u>大山</u> 土地区画整理事業や～

NO	頁	修正前	修正後
71	90	<p>施策 I -3 適切な施設管理 施策内容 1行目</p> <p>～老朽化に伴い、<u>道路など管路施設の不具合に起因する事故やポンプ場における設備故障が多く発生します。</u>～</p>	<p>～老朽化に伴い、<u>管路施設の不具合に起因する道路などの事故やポンプ場における設備故障が多く発生します。</u>～</p>
72	90	<p>取組 I -3-② 10年間の取組内容 1行目</p> <p>雨天時<u>浸入水</u>等の不明水に起因する～</p>	<p>雨天時<u>浸入水</u>等の不明水に起因する～</p>
73	91	<p>3.2基本方針Ⅱ「環境」環境にやさしい下水道 写真下</p> <p><u>大山地区土地区画整理事業予定区域</u></p>	<p><u>大山土地区画整理事業予定区域</u></p>
74	92	<p>取組Ⅱ-2-② 10年間の取組5行目</p> <p>～「<u>下水道の日</u>」には、下水道の役割や～</p>	<p>～「<u>下水道の日</u>」における取組の<u>一環として</u>、下水道の役割や～</p>
75	93	<p>特定事業場とは・・・？1段落目4行目</p> <p>～それぞれ<u>規制</u>されています。</p>	<p>～それぞれ<u>規定</u>されています。</p>
76	94	<p>取組Ⅲ-1-② 10年間の取組 1行目</p> <p>全国には各自治体がいろいろなデザインを施した下水道マンホールの蓋を<u>設置</u>しています。</p>	<p>全国には各自治体がいろいろなデザインを施した下水道マンホールの蓋が<u>設置</u>されています。</p>
77	96	<p>取組Ⅲ-3 施策内容</p> <p><u>区画整理事業</u>や～財務基盤強化の取組を<u>推進</u>します。</p>	<p><u>土地区画整理事業</u>や～財務基盤の<u>強化</u>に努めます。</p>
78	96	<p>取組Ⅲ-3-① 繰入金に対する基準外繰入金の割合</p> <p>R5：10%未満を維持 R6：→</p>	<p>R5：— R6：10%未満を維持</p>
79	96	<p>取組Ⅲ-3-②</p> <p>適正な企業債の発行と残高の管理</p>	<p>適正な企業債発行と残高の管理</p>

NO	頁	修正前	修正後
80	97	取組Ⅲ-3-③ 使用料のあり方検討 R5：経営戦略	R5:経営ビジョン
81	97	取組Ⅲ-3-④ 10年間の取組内容 1段落3行目 資産は十分に活用されて <u>おり</u>	資産は十分に活用されて <u>おりますが</u>
82	97	下水道事業会計の仕組み グラフ 収益的収支 その他 その他（長期前受金 <u>戻入</u> など）	その他（長期前受金戻入など）
83	97	下水道事業会計の仕組み 1段落1行目 下水道は勾配を利用して整備するため、多額の整備費用が必要であり、自己資金だけで賄うことは困難であるため、	下水道は勾配を利用して整備するため、 <u>水道工事と比較して埋設深度が深くなり、多額の整備費用が必要です。そのため、自己資金だけで賄うことは困難であり、</u>
84	98	【広域連携について】1段落1行目 下水道の事業運営は、	<u>国内における下水道の事業運営は、</u>
85	101	(1)有収汚水量の推移 1段落1行目 有収汚水量の推移より～	有収水量の推移より～
86	101	(1)有収汚水量の推移 2段落1行目 本市汚水処理構想の <u>目標及び計画</u> と整合を図って～	本市汚水処理構想及び「 <u>沖縄汚水処理再生ちゅら水プラン 2023</u> 」と整合を図って～
87	101	(2)下水道使用料の推移 1段落1行目 下水道使用料は有収汚水量に～	下水道使用料は有収水量に～
88	102	表3.3.3 資本的収入 企業債 うち <u>5年</u> 据え置き	うち措置期間5年
89	102	表3.3.3 収益的収入 営業収益 料金収入	下水道使用料
90	102	表3.3.3 収益的収入 営業収益 料金収入 年間有収汚水量	年間有収水量
91	102	表3.3.3 収益的支出 営業費用 職員給与費 基本給 年間1人あたり（H30年予算）	年間1人あたり
92	102	表3.3.3 収益的支出 営業費用 経費 修繕費	修繕費（過去5年平均）

NO	頁	修正前	修正後
93	102	表3.3.3 収益的支出 営業費用 経費	その他（過去5年平均）
		その他	
94	102	表3.3.3 収益的支出 営業外費用	その他（過去5年平均）
		その他	
95	102	表3.3.3 収益的支出	特別損失（過去5年平均）
		特別損失	
96	107	3) まとめ 1段落1行目	下水道事業の健全化や <u>安心・安全</u>
		下水道事業の健全化や <u>安心・安全</u>	
97	107	3) まとめ 1段落3行目	<u>上下水道料金等審議会</u> において
		料金審議会において	
98	107	3) まとめ 1段落6行目	維持管理費が増大して <u>おります。</u>
		維持管理費の増大が見込まれています。	
99	107	一般会計からの繰入金とは…？ 1段落2行目	しかし <u>雨水</u> における <u>浸水対策等</u> の
		しかし <u>雨</u> による冠水対策等を行うために	
100	108, 109	4.3投資財政計画の策定 1) 収益的収支	別紙4参照
		別紙4参照	
101	110, 111	4.3投資財政計画の策定 1) 資本的収支	別紙5参照
		別紙5参照	
102	112	5.原価対策表 1段落1行目	<u>投資・財政計画</u> における前提条件を基に
		前提条件を基に	
103	112	5.原価対策表 1段落1行目	収支から算出した <u>原価計算</u> の結果を
		収支から算出した結果を	
104	112	表3.4.1 原価計算表について	別紙6参照
		別紙6参照	